

# H27 シリーズ学習会

主催 リスコミ職能教育プロジェクト（北大農）

協力 札幌消費者協会／北海道大学 CoSTEP／他



旧ポプラ並木



食資源研究棟



農学部正面



農学部のロゴ

## H27 テーマ：5年目の福島～食の農の現場をつなぐ

### 第3回 「メディアは私たちにどう伝えたか」

【日時】 10月26日（月）12：30～15：30

【会場】 北海道大学農学部 総合研究棟1階 多目的室 W109  
札幌市北区北9条西9丁目

【講師】 久田 徳二 さん 北海道新聞・編集委員  
申 ハリン さん 江原日報・記者  
(通訳：申 ドンチョル さん)

【仕組】 学習会付き意見交換会

【コメンテーター】 李 ビョンオ さん 江原大学・教授

#### 【プロフィール】

久田徳二さんは名古屋市ご出身で、酉年生まれの57歳です。北海道大学の客員教授として農学部と北海道新聞の共同事業「親子講座・あぐり大学」を運営されています。北海道フードマイスターで、食の検定・食農1級をもっておられます。

申夏林（シン ハリン）さんは、記者として韓国の口蹄疫をめぐる報道のあり方に関する考察をされ、コメンテーターの李先生のもとで、論文を書かれました。現在は、MERS マーズ中東呼吸器症候群の報道に関する分析もされています。

第一回実施済み 8月4日（火）12：30～15：30

「農地と農作物はどうなったか」 講師：信濃 卓郎さん

第二回実施済み 9月4日（金）12：30～15：30

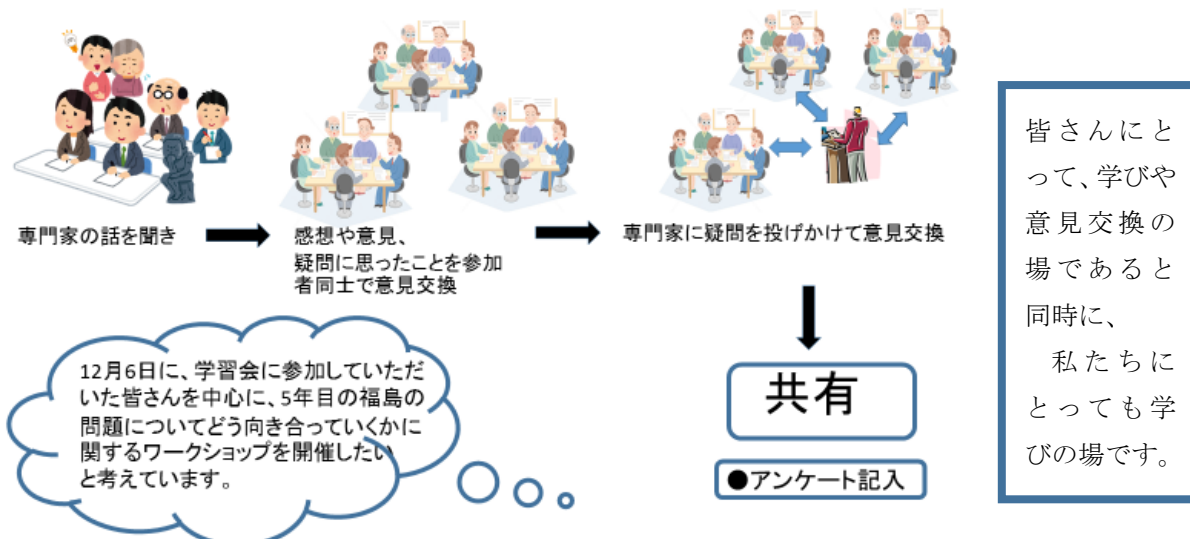
「海はどうなったか」 講師：川井 浩史さん

次回：「5年目の福島を考える～食と農の現場をつなぐ～」ワークショップ 12月6日（日）

講師： 小山 良太さん（福島大学 教授）

## 1) 内容

◆いま一度、福島のことをシリーズで学び考え、専門家とともに意見交換してみませんか？



## ◆言葉の説明

ポストイット： 付箋紙。考えや意見などを1枚に1つ書き込みます。何枚でも使って下さい。

(使い方のヒント)

専門家の話を聞いたりする時や、グループでの話し合いの時に使ってください。

分かったこと・分からなかったこと・感想や意見などを書きます。

用意したラッシュンペンを使って下さい。

書き込んだポストイットPIを大判ポストイットに貼り付けます。

グループファシリテーター： グループに分かれた時のファシリテーターです。話し合いが円滑に公平に進むことを助ける役割です。

サブファシリテーター： グループ対話での意見の取りまとめをグループファシリテーターと一緒に支援します。ポストイットを並べ替えたりしてまとめる作業。

## 2) プロジェクト事業の概要

本プロジェクトは、平成26年度から5カ年計画で文部科学省の事業採択を受け実施するもので、リスクコミュニケーション能力を身につけた人材の育成を目指しています。

そのために、学習と実践の両面から構成される適正・妥当な教育カリキュラムを考察します。また、実践の場を通じリスコミの現場を知る一方、現場の人々への知識とリスコミの知を啓くことを目指します。

なお、プロジェクトでは様々なリスク問題を多角的に扱い、ステークホルダーらと共に共感を生むコミュニケーションの場を構築し、その定着を図ることを目指します。

## 3) シリーズ学習会の目的

学習会(3回シリーズ)は人材育成の一環として取組むものであり、参加いただいた皆さんにアンケートを実施するなどして、人材育成プログラムの構築に向けた情報収集を図りたいと考えています。12月6日に、各学習会に参加していただいた皆さんと一緒に、5年目の福島の問題についてどう向き合っていくかに関するシンポジウムを開催します。

= 10月26日のプログラム =

1. 開会

12:30~12:35 (5分) 開会+本日の手順

2. 久田徳二さんのお話を聴く

12:35~13:15 (40分)

3. 申ハリンさんのお話を聞く

13:15~13:55 (40分)

4. 移動 (5分 長机席 ➡ 後部テーブル席)

5. 語り合い (4グループ)

14:00~14:30 (30分) 語り合い①

- ・講師のメッセージをどう受け止めたか
- ・感想・疑問点を出し合い PI に書いて、大判 PI 【ア】 に貼る
- ・グループ内で代表質問を 2 つ選ぶ

\*久田氏宛 1 つ (+予備 1 個)、申記者宛 1 つ

14:30~14:40 (10分) 休憩

★GF、質問担当者、SF は質問を 6 つに確定する

\*久田氏宛 4 つ、申記者宛 2 つ

★代表質問書き込み大判 PI 【イ】 と各グループの大判 PI 【ア】  
を壁に貼る

14:40~15:10 (30分) 語り合い②

- ・グループ代表質問 (6 つ) と講師の返答 (計 5 分以内) 30 分

★GF&SF は応答を記録する

※大判 PI 【イ】 に貼る

6. 移動 (1~2分 後部テーブル席 ➡ 最初の長机席)

7. しめくくり

15:12~15:27 (15分) 李ビョンオ氏 (江原大学・教授) のコメント

15:27~15:32 (5分) プロジェクト統括の小林より総括

8. 次回アナウンス・参加者アンケート

15:32~15:40

9. 閉会宣言 15:40

～メモ～